

2 1 - 3 : 江戸時代の人々に学ぶ、持続可能なくらし (竹の紙鉄砲作り・竹の花器作り)

プログラムの内容

▶竹の歴史、素材、作り方について学んだ後、竹を利用した体験を行う。シノダケやマダケなど身近な材料を利用し、資源の再利用についての解説を聞くことにより、天然資源の有効活用や竹林の自然環境についても学ぶことができる。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

▶ゴール 4（ターゲット 4.7）：身近な材料を使って暮らす循環型社会の実例を学ぶ。

▶ゴール 11（ターゲット 11.a）：江戸時代の農業などをはじめ、様々な形に加工された竹がもたらした生活の変化と都市部の発展について考える。



事前学習

- ▶竹について考える（イメージや疑問等）
→竹はどのように使われているか、
どんなところで利用できるか等。
- ▶知りたいこと、聞いて見たいことをまとめる。



現地学習

- ▶竹の説明（歴史、道具、使い方）。
- ▶資源の再利用についての説明。
- ▶実際の竹を用いた体験。
(竹の紙鉄砲作り・竹の花器作り)



事後学習

- ▶自然の素材を利用した生活を考える。
- ▶資源の有効活用について考える。

プログラムのポイント！



- ・子どもでも簡単に作れる体験です。楽しく体験をしながら、限られた資源について考えるきっかけとなります。
- ・身近な自然のものを利用して遊ぶとともに、環境にやさしい素材について学ぶことができます。

受入人数	1回 25名
受入可能時期（休業日）	通年 水曜・木曜 団体受け入れ設定日
受入可能時間	①9:30～②11:00～
体験時間	1回 60分

対象	小学3年生以上
1人/1回 当たり料金	1人 200円
備考 (雨天対応等)	雨天実施

▶問い合わせ

名称 : 千葉県立房総のむら
 担当 : 事業課 広報・普及グループ
 TEL : 0476-95-3333
 営業時間 : 午前9時～午後4時30分
 休館日 : 月曜日（祝・休日の場合は翌日）
 （令和7年度内容・実施日等要確認）